

ごみの再生じゅんかんについて



© 鹿児島県ぐりぶー・さくら

夏休み大阪・関西万博に行きました。

日本館では「未来の森」をお散歩しようとのよびかけとともにやさしい光に包まれた空間に張りめぐらされたチューブの中で無数のも類が成長していく展示がありました。

そして、この展示を支えているのは、万博会場で、でたゴミをび生物の力で分解し、エネルギーを生み出す「再生工場」だったのです。

また、ゴミで作ったベンチや貝がらで作ったベンチ、二酸化炭素を出さない空飛ぶ車などもありました。

さらに、ゴミが水や熱、電気など、さまざまな物質やエネルギーに大変身することも知り、むねがいっぱいになりました。

私たちの身の回りには使われなくなった紙類、食べ残しの食材、飲み干したペットボトル、空き缶など、ゴミがたくさんあふれています。これらのゴミもび生物の力を借りたり、物をとかして新たな物を作ったりするなど、ゴミの再生じゅんかんをすることができます。

これからますます意識して、紙やえんぴつけしゴムなどを最後まで使ったり、ペットボトルや空きかんを分別して使ったりするなど、ゴミを生かし、育て、未来の豊かな生活につなげていきたいです。

学校法人池田学園池田小学校 6年 中西 温絆

